

令和6年12月1日実施 市内沿岸部一斉津波避難訓練 のお知らせ

今後40年以内に90%程度の確率で発生が予想される「南海トラフ巨大地震」に備える防災対策は極めて重要となっています。そこで、杵築市では津波浸水が予想される行政区を対象にした「市内沿岸部一斉津波避難訓練」を実施します。



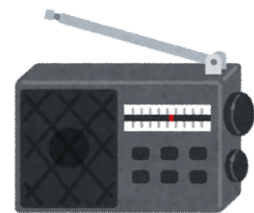
○避難訓練の流れ ※雨天決行

○訓練前日:11月30日(土)

- ①12時30分と18時30分……市から避難訓練実施のお知らせ
(防災ラジオのみ使用)

◎訓練当日:12月1日(日)

- ①9時……市から避難訓練実施のお知らせ
(防災ラジオ・屋外スピーカー使用)

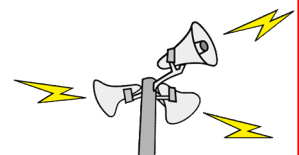


- ②10時……市から避難訓練開始の緊急放送
(防災ラジオ・屋外スピーカー・緊急速報メールの使用)

- ③11時まで……避難完了
訓練では避難場所への到着で避難を完了とします。

- ④11時15分まで……防災士(防災士がいない行政区は区長又は役員)が
市に避難者数等を報告
「津波被害の想定と避難する際の注意点」を講話(約3分)

- ⑤11時30分……市から避難訓練終了の放送
(防災ラジオ・屋外スピーカー使用)



◎ 裏面に今回の避難訓練の趣旨とポイントがあるのでご一読ください。

今後40年以内に90%程度の確率で発生が予想される「南海トラフ巨大地震」に備えるための対策は極めて重要となっています。実際に巨大地震が発生した場合は、杵築市では**最大震度6弱**の地震が想定されています。また**最大4.26mの高さの津波が1時間27分**、人的被害がでる可能性のあると言われる**1mの津波は最短で1時間13分**で到達すると想定されており、いち早く高台へ避難することが命を守る最善策となります。

そこで、**津波浸水が予想される行政区を対象にした「津波避難訓練」**を実施します。

実際に避難場所まで避難することにより避難経路と避難場所への到達時間及びハザードマップの確認を行い、地震が発生したとき慌てずに避難できるよう準備をしておきましょう。



今回の避難訓練の3つのポイント！

(1) 津波防災マップの確認

避難場所をご家庭にある「ハザードマップ」で**1時間以内に避難が可能な場所**か確認してください

想定される津波の高さから**海拔8メートル以上**が安全とされています。

海拔8メートルラインはハザードマップ上の「**黒いライン**」です。事前の確認をお願いします。

(2) 避難方法

実際の災害が起こった際の混雑を想定し、**原則徒歩で避難**をしてください。

ただし、**徒歩での避難が難しい高齢者など要配慮者の方**の避難については地域で話し合って協力し、**優先して車で避難**できるようにしてください。

赤信号での停止や横断歩道の活用など交通ルールを遵守しましょう。

今回の避難訓練は、**避難場所の位置確認とルート確認**が主な目的なので、避難場所の**建物内には立ち入り**をしないようお願いします。

(3) 防犯対策

避難の際には**必ず施錠**し、訓練に参加してください。

**高台に避難
してください**

